



平成 23 年 4 月 28 日

各 位

会 社 名 株式会社だいこう証券ビジネス
代表者名 代表取締役社長 山 本 晃
(コード番号：8692 東証・大証 第1部)
問合せ先 企画総務部長 金子 文 郎
(電 話 番 号：03-3666-9378)

中期経営計画の見直しに関するお知らせ

当社グループは、平成 23 年度を最終年度とする中期経営計画につきまして、下記のとおり見直しを行うことといたしましたので、お知らせいたします。

記

1. 計画見直しの理由

当社グループは持続的な成長を図るため、「証券業務の総合的プラットフォーム」としての進化を目指しております。平成 21 年度に策定いたしました中期経営計画（「アクションプラン」）に基づき、徹底的な構造改革を実施し、平成 22 年度の営業利益の黒字化を目標としてまいりました。しかしながら、構造改革の実施により大幅な費用削減を実現したものの、株式市況低迷の長期化による営業収益の大幅な減少を補うことができず、営業利益黒字化という目標達成には至りませんでした。

このような状況の中、今後も引き続き厳しい経済環境が予想されることを踏まえ、中期経営計画の見直しを行うことといたしました。この中期経営計画では、平成 25 年度までの 3 か年において「サービスの高品質化・高付加価値化」および「業務体制の効率化」を柱とした各施策を展開してまいります。

2. 経営目標

- (1) 平成 23 年度に『黒字体質』への転換を図る
- (2) 平成 24 年度に『持続的な成長軌道』への復帰を果たす
- (3) 平成 25 年度に『本格的な業容拡大』を実現する

3. 重点施策

この中期経営計画では、「サービスの高品質化・高付加価値化」および「業務体制の効率化」を柱とした各施策を展開してまいります。

(1) サービスの高品質化・高付加価値化

①「Dream-S&S」プロジェクトの推進

証券会社の設立から業務運営に至るまで、証券業務を包括的に支援する「Dream

ーS&S」プロジェクトの展開を引き続き推進してまいります。

②新事業の創出・育成

「相続手続き事務代行サービス」や「外国株式業務」などの新規業務を展開してきておりますが、引き続き新たな事業の創出・育成に向けた組織力の強化を図ってまいります。

③業務品質・業務効率の向上

あらゆる業務の品質向上活動を引き続き展開するとともに、継続的に業務効率の向上に努めてまいります。

④M&A・アライアンスの推進

「証券業務の総合的プラットフォーム」としての進化に資するM&Aやアライアンスを推進してまいります。

(2) 業務体制の効率化

①バックオフィス事業の構造改革

バックオフィス事業については業務処理体制と業務フローの再構築を推し進め、お客様の利便性をより高めるとともに、グループ全体の収益向上を目指してまいります。

②徹底した固定費削減

システム関連費用および間接部門費の一層の削減、総額人件費の見直しなどにより、徹底した固定費削減に努めてまいります。

③事業拠点の再編・集約

業務効率の向上を図るとともに、事業拠点の維持管理に関わるコストの削減に取り組んでまいります。各地に所在する支社については、横浜支社を本年3月末に閉鎖しておりますが、6月末に広島、9月末に名古屋および福岡、12月末に新潟の各支社について順次閉鎖してまいります。

以 上